

greenworks®

STG309(工具本体)

取扱説明書


24V充電式タッカー


この度は、24V充電式タッカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。



1. コードレス工具の安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

警告

- **専用の充電器やバッテリーを使用してください。**
記載されている指定の充電器やバッテリーを使用してください。
指定外のバッテリーを使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼすおそれがあります。
- **バッテリーの端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などのおそれがあります。
- **バッテリーの内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などのおそれがあります。
- **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - ・工具本体やバッテリーは、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙のおそれがあります。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - ・可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある場所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災のおそれがあります。
- **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。
また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入るおそれがあります。
- **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを使用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

警告

- 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを工具本体から取り外してください。
 - ・使用しない、または準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - ・付属品や別売品を取り付け、交換する場合。
 - ・その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- 不意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- 指定の付属品や別売品を使用してください。
この取扱説明書に記載されている指定の付属品や別売品を使用してください。
事故やけがの原因になります。
- バッテリーを火の中に投入しないでください。
破裂して、有害物質が出るおそれがあります。

注意

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - ・安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる場所に保管してください。
事故の原因になります。
 - ・工具本体やバッテリーの温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
バッテリー劣化の原因になり、発煙・発火のおそれがあります。
- 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - ・モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙・発火のおそれがあります。

注意

- **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - ・小形のコードレス工具や別売品は、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- **きちんとした服装で作業してください。**
 - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれるおそれがあります。
- **無理な姿勢で作業しないでください。**
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - ・付属品や先端工具の取り付け・取り外しは、取扱説明書に従ってください。
 - ・グリップ部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
 - ・コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの原因になります。
 - ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- **損傷した部品がないか点検してください。**
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、または所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他作業に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- **コードレス工具の修理は、専門業者に依頼してください。**
 - ・専門業者以外の方は、工具本体やバッテリーの分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

2. 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式タッカーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

警告

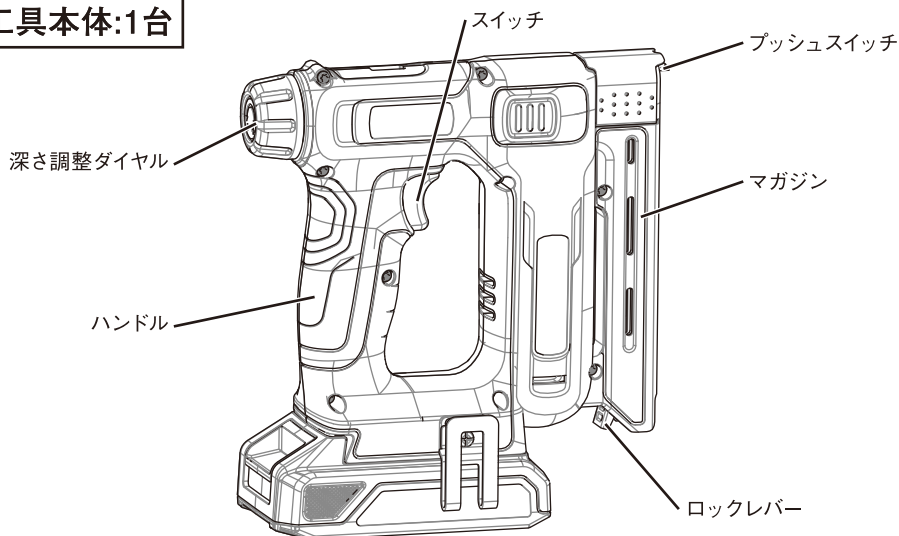
- 作業中は、保護メガネや耳栓などの保護具を着用してください。
- 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 使用前に点検し、バッテリーを付けるときには射出口が人体に向いていないこと、またプッシュスイッチが物に触れていないことを確認してください。
- 使用中、本体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- 工具本体の端子部（バッテリー取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・本製品やバッテリーの端子部に、切りくずやほこりがたまっていないか点検してください。
 - ・作業中に、本体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。短絡（ショート）して、発煙・発火のおそれがあります。
- 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、本製品に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを作業前に十分確かめてください。
- 可燃性の液体やガスのあるところで使用しないでください。
ステーブルを打ち込むとき、火花による爆発や火災のおそれがあります。
- 作業中は、本製品に顔などを近づけないでください。
- 本製品の反発に注意してください。
硬い所に打った場合、本製品が跳ね返ることがあります。

⚠ 注意

- 本製品を、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業していただくために、常に手入れをしてください。
 - ・ハンドルは、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- 破損した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に部品に損傷がないか十分に点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置情報および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他動作に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・本体に損傷があり始動および停止操作など正常に動作しない高圧洗浄機は、使用しないでください。
- バッテリーは確実に取り付けてください。

3. 各部の名称

工具本体:1台



同梱品



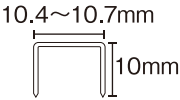
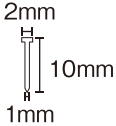
Uタイプステープル : 500本



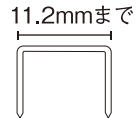
Tタイプステープル : 500本

4. 仕様

● 工具本体

品番	STG309			
モーター	直流モーター			
使用ステープル	Uタイプ		Tタイプ	
装てん数	85本			
作業量 (BAG708使用時)	約3000本			
電池電圧	24V			
使用可能バッテリー	BAG708 / BAG709			
寸法	長さ180×幅81×高さ199mm (工具本体のみ)			
質量	約1.38kg (工具本体のみ)			

※使用ステープルについては、表記の寸法と実際の寸法が多少異なることがあります。
またUタイプのステープルについては、実際の寸法の外形が11.2mmを超えたものを使用すると、正常にステープルを打つことができない場合があります、故障の原因になります。



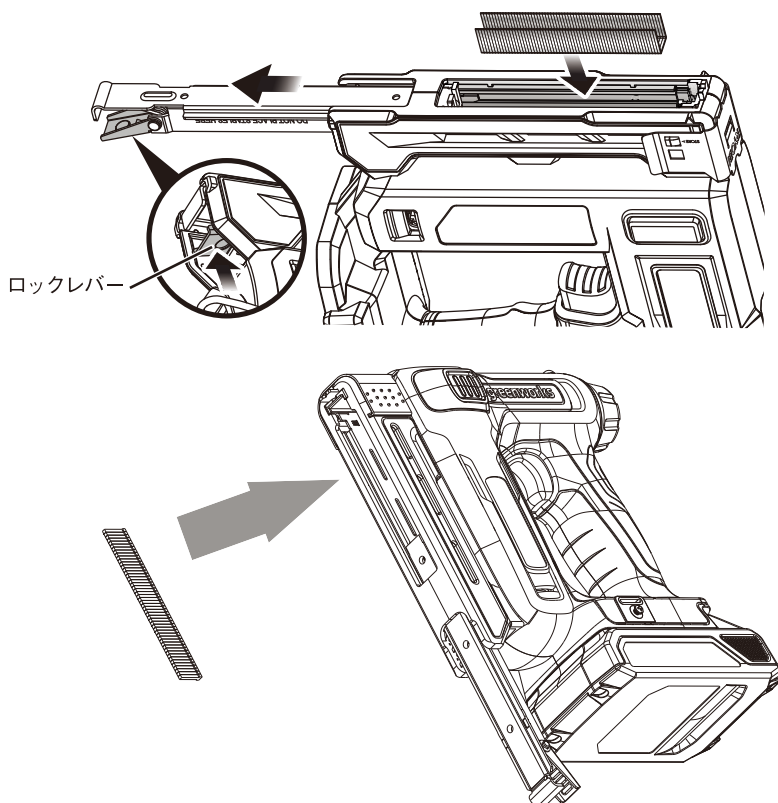
5. ステープルの装てんについて



●ステープルの装てんの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。

- ①ロックレバーを押し、マガジンを後ろにスライドさせます。
- ②ステープルの足を上にして、マガジンに装てんします。
- ③マガジンを「カチッ」と音が鳴るまで、押し込みます。

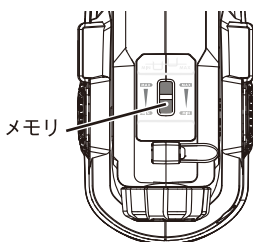
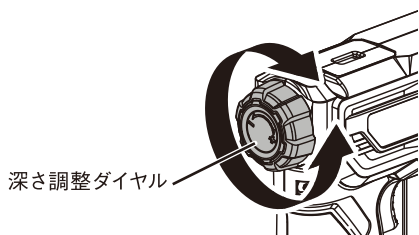
※Tタイプのステープルを装てんする際は、本体右側に装てんしてください。



※作業中にステープルが詰まった場合は、マガジンをスライドさせ、詰まりを取り除いてください。
詰まりを取り除いた後は、必ず試し打ちをしてから作業に戻ってください。

6. 打ち込み深さの調整について

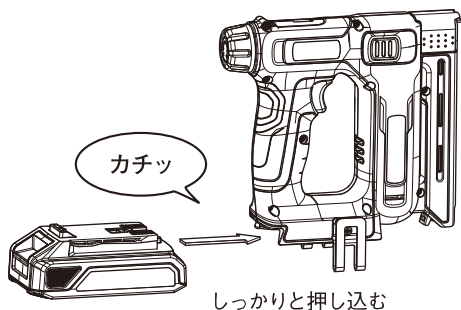
- 打ち込み深さを調整する際は、必ず射出口を下に向けて、スイッチに指を掛けないでください。
- 深さ調整ダイヤルを時計回りに回転させると深く、反時計回り回すと浅く、打ち込み深さを調整できます。
 - ・ 本体上面に、打ち込み深さの調整具合が分かるメモリが付いています。
 - ※ 打ち込み深さを調整後、廃材などで試し打ちをしてください。



7. バッテリーの取り付け・取り外し

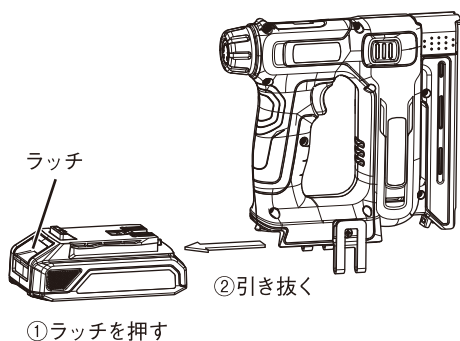
● 取り付けるとき

バッテリーを取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



● 取り外すとき

バッテリーを工具本体から取り外すときは、ラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



8. スイッチについて

本製品を材料に押し当て、プッシュスイッチが押し込まれた状態でスイッチを押すと、ステープルが発射されます。

※一度ステープルを発射するごとにスイッチを離し、材料から本製品を離してください。

9. ご使用前の点検・準備

⚠ 警告

- 可燃性の液体や、ガスのあるところで使用しないでください。
- 子供など、作業者以外は近づけないでください。
- 本製品に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- プッシュスイッチの動作確認の際は、必ずバッテリーを抜いてください。

10. ベルトクリップの付け替え

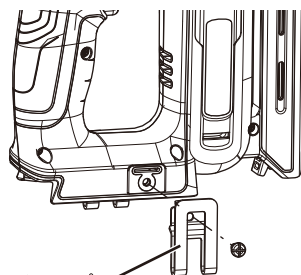
ベルトクリップは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げる機能を持っています。左右に付け替えて使用することができます。

⚠ 注意

- ・ベルトクリップを腰ベルトに掛けて本製品を運ぶときは、先端工具を取り外してください。
- ・ベルトクリップを使用するときは、本製品が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- ・ベルトクリップはしっかりと取り付けてください。

●付け替え方法

プラスドライバーを使用して、ねじを取り外します。
付け替える場合はねじを外した後、ベルトクリップを反対側に取り付け、ねじでしっかりと締め付けます。



ベルトクリップ

11. ステープルを打つ



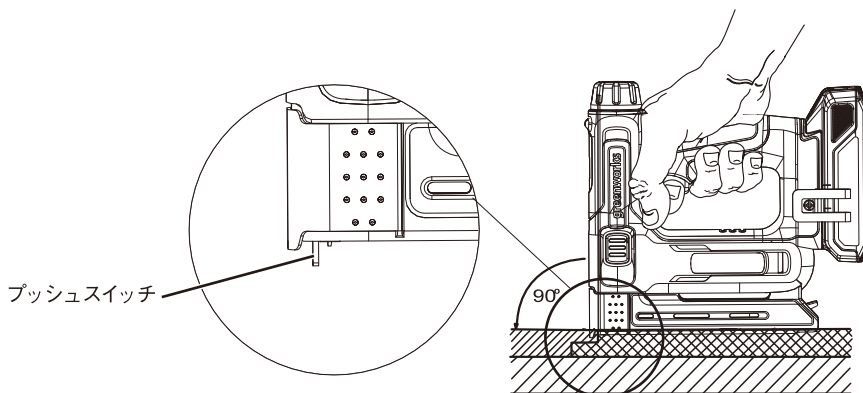
- 身体に射出口を向けないでください。
- 射出口付近に顔や手、足などの身体を近づけて作業しないでください。
- 一度ステープルを打った場所には、再度打たないでください。
- 打ち込みが完了するまで、本製品をしっかりと材料に当ててください。
- スイッチを引くときは、他の指などでプッシュスイッチを固定しないでください。
- 使用しない場合や作業中断時は、バッテリーを抜いてください。
- 作業終了後は、バッテリーを取り外し、ステープルをすべて抜き取ってください。

- ① ステープルを装てんします。
- ② 打ち込み深さを調整します。
- ③ バッテリーを取り付け、要らない廃材などで試し打ちをします。
- ④ ステープルを打ちたい場所に本製品をしっかりと当てて、スイッチを引きます。

※材料にしっかりと押し当てていない場合は、プッシュスイッチは反応せず、ステープルを打つことはできません。しっかりと押し当ててください。

※打ち込みが不完全な場合は、本製品の頭部をしっかりと押さえてください。

※頭部をしっかりと押さえても、打ち込みが不完全な場合は、打ち込み材料が適していません。



12. 保護機能について

本製品を使用中、下記の状態になるとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり、故障ではありません。

- 本製品およびバッテリーの温度が高温になると、モーターが自動停止します。
 - ・使用を中断して本製品よりバッテリーを取り外し、冷ましてください。
 - ・バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
- バッテリーの容量が少なくなると、モーターが自動停止します。
 - ・本製品からバッテリーを取り外し、バッテリーを充電してください。
- 本製品が過負荷状態になると、モーターが自動停止します。
 - ・いったんスイッチを放して本製品よりバッテリーを取り外した後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば、再びご使用いただけます。

13. 保守・点検について

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを取り外してください。バッテリーを本製品に取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

- 本製品のお手入れ
 - ・乾いた布、または薄めた中性洗剤を付けた布で、きれいに拭いてください。
 - ・各 부품の取り付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
- マガジンの点検
 - ・マガジン内を定期的に掃除してください、マガジンを引き出して、中にたまったステーブルの接着剤、ごみ、木くずなどを取り除いてください。
- 端子部の点検
 - ・本製品やバッテリーの端子部に、切りくずやほこりがたまっていないか点検してください。
- 保管について
 - ・作業後は温度が50℃未満の、子供の手の届かない、乾燥した場所に保管してください。
 - ※子供の手の届く場所や、簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
 - ※雨水のかかる屋外や、湿度の多い場所には保管しないでください。
 - ※急激に温度が変化する場所や、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
 - ※引火や爆発のおそれがある、揮発性物質の置いてある場所には保管しないでください。

株式会社 プロト

〒675-1201 兵庫県加古川市八幡町宗佐1440



0570-033-634

平日 AM10:00~PM5:00

IP電話からは 050-3503-6345